カンヴァスの同伴者たち
高橋龍太郎コレクション

日本の現代アートを一望！

山形県鶴岡市に生まれた精神科医の高橋龍太郎氏は、1990年代より日本の若手作家を中心に現代美術のコレクションを本格的に開始します。新たな作家の発掘や作品の再評価を精力的に行い、3000点を超えるそのコレクションは、日本を代表する現代美術コレクションとして知られています。本展では、高橋龍太郎氏のコレクションのルーツとなる作品をはじめ、2000年以降の社会を反映するように拡張しつづける日本の現代美術のエッセンスを約70点で紹介します。

「カンヴァスの同伴者たち」というタイトルには、アーティスト、コレクター、キュレーター、そしてわたしたちすべてがアートの同伴者であるという高橋氏の思いが込められています。またそれは同時代の美術を射る高橋龍太郎氏の姿そのものといえるでしょう。

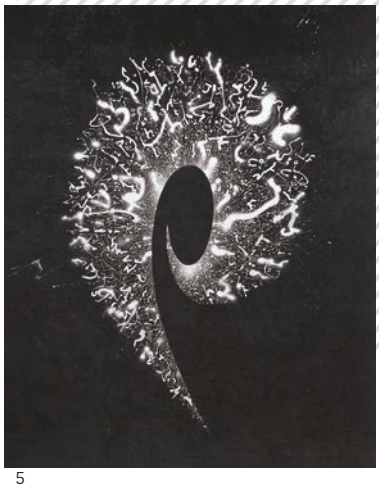
1964年に開館した山形美術館は、地域に根差す美術館活動を重ね、本年で60年を迎えます。時代を写し、わたしたちとともにあるアートとの出会いを、山形でお楽しみください。

1

2

3

4


5

6

展示テーマと作家

高橋龍太郎コレクションのルーツ
草間彌生、合田佐和子、奈良美智、村上隆、会田誠、山口晃、池田学

象(しょう)をうつす
大谷有花、武田鉄平、衣川明子、谷保玲奈、川内理香子、佐藤未希、友沢こたお

キャラクターイメージの遍(偏)在
梅沢和木、小林健太、浦川大志、名もなき実昌

余白をみる　書、カリグラフィ、グラフィティ
井上有一、操上和美、李禹煥、関根伸夫、華雪、鈴木ヒラク、村山悟郎、大山エンリコイサム、やんツー、BIEN

ヴァナキュラー　東北から生まれる
鴻池朋子、金子富之、志賀理江子、土井沙織、近藤亜樹、久松知子

メディウムと色、形
春木麻衣子、今井俊介、青木豊、水戸部七絵

絵画と陶　拡張するアート
岡﨑乾二郎、奈良美智、見附正康、桑田卓郎、西ノ宮佳代、梅津庸一、川井雄仁、松下徹、坂本紬野子

7

8

9

1.草間彌生《STATUE OF VENUS OBLITERATED BY INFINITY NETS(Y)》1998 © YAYOI KUSAMA/ 2.会田誠《笑顔》1997 ©AIDA Makoto, Courtesy of Mizuma Art Gallery/ 3.合田佐和子《ジョン・クロフォード 1931》1975 © Sawako Goda/ 4.大谷有花《ピクニック I》2007 ©Yuka Ohtani/ 5.鈴木ヒラク《Constellation #41》2020 © Hiraku Suzuki/ 6.谷保玲奈《共鳴》2018 © Reina Taniho/ 7.見附正康《無題》2022 © Masayasu Mitsuke, Courtesy of Ota Fine Arts/ 8.西ノ宮佳代《猫だるま − 拾玖ノ姫・愛》2015 © Kayo NISHINOMIYA / photo by Tomonori OZAWA/ 9.金子富之《赤山地龍》2018 © KANEKO Tomiyuki, Courtesy of Mizuma Art Gallery Photo by MIYAJIMA Kei

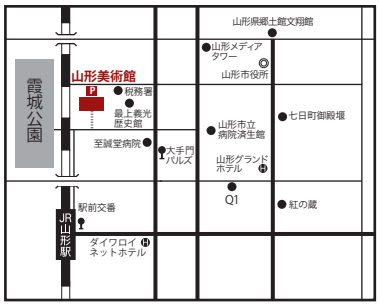
関連イベント［要観覧料］

■記念トーク　高橋龍太郎 × 華雪［出品作家］
日時：4月5日［金］ 14:00−

■担当学芸員によるイチ推しトーク
日時：4月12日［金］、26日［金］、5月10日［金］、24日［金］ 各日 11:00−［20分程度］

■かたらい鑑賞 Day
日時：4月11日［木］、25日［木］、5月16日［木］ 10:30−13:00
※この日は展示室内で自由に会話をしながら鑑賞いただけます。
学芸員も会場におりますので気軽にお声がけください。

＊その他イベントの更新情報は山形美術館ホームページでご確認ください。



■交通案内
徒歩　JR山形駅東口から徒歩15分
バス　ベニちゃんバス「中心市街地」行き
霞城公園前下車徒歩4分
車　山形自動車道山形蔵王I.C.から約15分
山形美術館北側に無料駐車場がございます。
有料の提携駐車場はございません。

■問い合わせ先
展覧会について 山形美術館/023-622-3090
チケットについて 山形新聞社事業部/023-642-7955

山形美術館
山形市大手町1-63 tel.023 622 3090
www.yamagata-art-museum.or.jp